



社団法人 日本滑空協会
Japan Soaring Association

平成 27 年度
公益社団法人日本滑空協会
総会議事録

開催日時：平成 27 年 6 月 13 日 13:00～14:00
開催場所：ハロー貸会議室新橋G室会議室 ニュートン新橋ビル8階

議案資料として全会員にお送りした第1号議案：平成 26 年度事業報告、第3号議案：平成 27 年度事業計画及び予算について報告し、第2号議案：平成 26 年度決算について審議し、決議しました。

定款 16 条に基づき、無記名投票により議長選出を行いました。出席者 14 票中、佐藤淳造会長 8 票、甲賀常務理事 3 票、委任 3 票で、佐藤会長を議長に選出しました。

開会および定足の確認

議長により開会が宣言され、議長の指示により甲賀事務局長より以下総会出欠状況の説明があり、定足が満たされていることを確認しました。

現在会員数 573 名、定足は過半数 287 名のところ、総会前日午前中までに 331 名から返信がありました。総会出席者 15 名（議事途中で 1 名追加）、欠席者 318 名のうち、直接採決が 165 名で会員の承認を必要とする第 2 号議案に全員賛成されました。さらに、議長への委任が 134 名、その他指名による議決権委任が 18 名、無効票 1 でした。

総会出席者：石橋正敏、井上善雄（理事）、河合隆久、甲賀大樹（常務理事）、坂井正一郎（常務理事）、佐藤淳造（会長）、鈴木茂夫、谷口良知（監事）、中国航空協会（団体会員）、日口裕二（理事）、廣政和男、深田浩、丸山毅（理事）、吉田茂（理事）、吉田正克（常務理事）

議事録署名人決定

定款 22 条 2 項に基づき、議長より議事録署名人は佐藤淳造会長、吉田茂理事、日口裕二理事が務める旨出席者に諮られ承認されました。

議長挨拶

平成 26 年度から若い理事が加わり、SSF2014、クラブミーティング、オンラインコメント（OLC）など、新しい活発な動きが始まりました。そのような中、1 年間に大小 12 件のグライダー事故があり、5 月 30 日には 3 件（死亡 1、重傷 2）発生しました。12 件のうち半数は安全性が高いはずの動力付滑空機の事故でした。グライダーの安全確保を再度確認して下さい。

議案説明

議長の指示により、甲賀事務局長から各議案の説明がありました。
ご承知のように当協会は、定款第 3 条 目的、“この法人は、わが国における滑空スポーツを統括し、代表する団体として、滑空スポーツの普及、振興ならびに安全を図る事業を行い、国民の心身の健全な発達に寄与することを目的とする。”の実施を行うため、以下事業を実施しております。

| | |
|----------------|---------------------------------|
| 公益事業 1：統括普及事業 | 滑空統計など情報収集、関係団体との交流、広報、など |
| 公益事業 2：愛好者育成事業 | 指定養成事業、各種講習会、日本滑空記章運用、など |
| 公益事業 3：競技会事業 | 競技会振興 |
| 法人事業 | ： 法人自身を維持する活動 会員管理、理事会及び総会開催、など |

第 1 号議案 平成 26 年度事業報告

上記内容の活動を行っておりますが、平成26年度の主な活動は下記です。
クラブミーティング

“将来の滑空界はどうあるべきか”のビジョンを探求し、滑空界のコンセンサスを得て実施する計画で、有志がインターネット上で活動しております。昨年総会後に会場で意見交換した後、11月29-30日、岐阜県大野に13団体23名の有志が集まり、一泊で意見交換した後、インターネット上で活動を続けております。

スカイ・スポーツ・フェスタ2014 (SSF2014)

10月21日妻沼滑空場で模型、熱気球、ハング・パラ、マイクロライト、グライダーの統括団体が集まり、展示、デモ飛行、体験飛行を行いました。来場者6000名、体験飛行を360名に提供し、当日18:00および21:00のNHKニュースで全国に放映されました。

各種委員会に於ける当協会委員の活動

FAI IGC 総会の際 On Line Contest 主宰者 Mr. Reiner Rose と直接お話しして、日本の記録を抜き出せるようにしていただき、OLC全ページで日本語表示を選択できるよ

うにさせていただきました。
学科試験問題検討委員会、技量維持連絡会、医事委員会、学科試験委員会に当協会から委員が参加、航空行政のなかに滑空界の意向を含めるよう努め、成果が出て来ました。

第2号議案 H26 決算報告 (総会の承認が必要) 単位万円

同決算は山本隆章、谷口良知両監事の監査を受け、総会案内に監査報告書が入っております。

収入 934 万、内会費 711 万 (76%)、残り事業費

支出 793 万 事業費 627 万 (79%)、管理費 166 万 (21%)

| 平成26年度決算 | 公1 | 公2 | 公3 | 共通 | 法人 | 合計 |
|----------|------|------|-----|-----|-----|-----|
| 収入 | 26 | 194 | 0 | 357 | 357 | 934 |
| 支出 | | | | | | |
| 事業費 | 221 | 362 | 44 | 0 | | 793 |
| 管理費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 166 | |
| 収支 | △195 | △169 | △44 | 357 | 191 | 141 |
| 期末正味財産額 | | | | | | 878 |

第3号議案 平成27年度事業計画及び予算 (報告事項)

平成27年度事業計画

クラブミーティングは継続し、6月20-21日長野で会議を開催します。

SSF2015 は10月25日(日)妻沼滑空場で開催するべく準備を進めております。今年には新たにパラモーター、エクスペリメンタル、JAPAが加わり、モーターグライダーの体験飛行、室屋義秀氏のExtra 300Sデモおよびサイン会が加わります。体験飛行は各種合計450名に提供する予定です。

グライダー事故が増えおり、様々な機会に安全性向上の注意喚起を行います。

滑空スポーツのレベル向上のため、クロスカントリーソアリングをテーマに講習会、講演会を実施します。

平成27年度予算 単位万円

収入 909 万、内会費 728 万 (80%)

支出 878 万 事業費 754 万 (86%)、管理費 124 万 (14%)

| 平成27年度予算 | 公1 | 公2 | 公3 | 共通 | 法人 | 合計 |
|----------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 収入 | 31 | 145 | 0 | 366 | 366 | 909 |
| 支出 | | | | | | |
| 事業費 | 157 | 180 | 25 | 393 | | 878 |
| 管理費 | 0 | 0 | 0 | 0 | 124 | |
| 収支 | △126 | △35 | △25 | △27 | 242 | 31 |
| 期末正味財産額 | | | | | | 909 |

議案説明についての質疑応答
特にありません。

決議

平成 26 年度決算報告は 15 名全員賛成で承認・決議されました。

その他報告事項
特にありませんでした。

閉会

以上を以てすべての議事を終了し、14:00、議長により閉会が宣言されました。

平成 26 年 6 月 15 日
公益社団法人 日本滑空協会

議長 会長

佐藤 淳造



議事録署名人 理事

日 口 裕 二



同 理事

吉田 泰 久



議事録作成人

甲 賀 大 禮 斗

